

Catch Ball

2021

February

2

Vol.892

CONTENTS 【特集】令和2年産 農産物を振り返る … 1～7

●しめ飾り寄贈…8 ●女性部感謝祭 2020 ほか…9 ●理事会だより…11



金融課では受験シーズン中、入学願書用収入証紙の購入者に受験ガンバレグッズをプレゼント



JAびばい管内の基幹作物である水稻をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況などを振り返ります。
今年度の営農の参考にお役立てください。

水稻

▼気象経過と生育状況▲

1 融雪と耕起作業

昨年は降雪量が少なく、融雪期は3月21日となり、平年より16日早くなった。(空知農業改良普及センター本所調べ。以下の生育期節も同様。)

耕起作業は、融雪後も好天が続いたため、ほ場の乾きが進み、耕起最盛期は4月21日(早12日)と平年より早く進んだ。

2 は種作業

は種作業は、は種始4月17日(早1日)、は種期4月21日(早1日)と平年並となった。

3 育苗

出芽期は4月27日(早1日)となり、は種から出芽までの日数は平年並の6日間だった。育苗期間は好天の日が多く、気温も高く日照時間もあつたため苗の生育は順調だった。極端な高温になることもなく、移植

時の苗質は概ね良好なものとなった。

表1 「ななつぼし」の苗素質(中・成苗平均)

	R2年	平年	差・比率
草丈 (cm)	13.5	14.2	-0.7
葉数 (枚)	3.6	3.8	-0.2
茎数 (本)	2.4	2.5	-0.1
第一鞘高 (cm)	2.9	2.5	0.4
乾物重 (g/100本)	2.9	3.5	83%
充実度(乾物重/草丈)	0.2	0.3	84%

4 移植作業

移植は、ほ場準備が順調に進み、苗の生育も進んだことから、移植始5月18日(早2日)、移植期5月22日(早2日)、移植終5月26日(早2日)となった。

5 初期生育

移植期より活着期までの日数は、8日間と平年より3日多く時間を要した。

特に5月18〜21日にかけて、低温・強風と一部で降霜もみられ、植傷みにより生育は停滞した。

その後の高温・多照により、分けつの発生が旺盛となり、6月15日時

点の茎数は平年対比130%と多くなった。

表2 「ななつぼし」の生育経過

調査月日		草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数
6月1日	R2年	16.0	4.4	89	-1
	平年	17.1	4.7	102	
6月15日	R2年	28.4	6.9	242	+2
	平年	27.7	6.6	186	
7月1日	R2年	45.4	8.9	588	+1
	平年	41.7	8.7	480	
7月15日	R2年	64.5	10.3	642	+1
	平年	63.1	10.3	682	

しかし、6月中下旬は寡照傾向となったため、生育は緩慢となり7月15日時点の茎数は平年対比94%となった。

6 前歴期間・冷害危険期

幼穂形成期は、7月1日(早1日)となった。

前歴期間より冷害危険期にあたる7月上旬は高温・多照傾向で推移し、稔実歩合は平年並となった。

7 出穂

7月下旬の日照不足の影響で、生育の進みは緩慢となり、出穂期は、7月29日(遅1日)となった。

8 登熟期間・成熟期・収穫作業

出穂期より成熟期の日数(登熟期間)は、45日と平年並だった。

収穫作業は、平年並に行われ、収穫終は10月2日(±0日)となった。

9 収量構成要素・収量・品質

穂数は、中苗は平年よりやや少なく、成苗は平年並だった。

中苗は、一穂粒数は平年並だったが総粒数が平年よりやや少なくなった。また、千粒重は平年より重くなった。

表3 「ななつぼし」の生育期節

	出芽期	活着期	分けつ始	幼穂形成期
R2年	4月27日	5月30日	6月7日	7月1日
平年	4月28日	5月29日	6月8日	7月2日
遅速	早1	遅1	早1	早1
	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
R2年	7月25日	7月29日	8月2日	9月12日
平年	7月24日	7月28日	8月1日	9月13日
遅速	遅1	遅1	遅1	早1



令和2年産 農産物を振り返る

成苗は、1穂粒数・総粒数ともに
 平年よりやや多くなった。また、千
 粒重は平年並だった。

表4 収量構成要素（普及センター作況）

品種	育苗 様式	㎡穂数		1穂粒数		㎡総粒数		総実歩合		千粒重	
		R2年	平年比	R2年	平年比	R2年	平年比	R2年	平年比	R2年	平年比
ななつぼし	中苗	596	96%	58.0	99%	34,568	95%	94.7%	102%	23.3	104%
	成苗	569	99%	63.5	104%	36,132	103%	93.4%	100%	22.7	98%
ゆめぴりか	中苗	648	93%	43.9	87%	28,447	81%	96.3%	103%	23.9	104%
	成苗	640	98%	52.7	99%	33,728	98%	92.5%	99%	23.4	100%

北海道農政事務所による南空知の
 水稻収量（12月9日公表）は、10a
 当たり566kg、作況指数106と

発表されている。

品質は、概ね良好で、製品歩留は
 高くなっている。また、タンパク値
 が低い傾向にあった。

10 いもち病

7月6半旬に葉いもち病の初発を
 確認したが、軽微なものだった。そ
 の後も、全体的な発生は無く、一部
 の発生に止まった。

11 カメムシ

カメムシは、トラップや捕虫網に
 よる調査の結果から、発生量が多い
 傾向がみられたが、適期防除の実施
 により、斑点米による被害粒は、ほ
 とんどみられなかった。

12 紋枯病 疑似紋枯症含む

紋枯病は平年よりやや少ない発生
 となったが、毎年発生しているほ場
 では病徴がみられた。

令和3年度に向けて

1 茎数確保のため初期生育促進

融雪促進を進め、停滞水をすぐに、
 ほ場外へ排出し、乾田化を図り、早
 期に窒素吸収できるようにする。

は種時期や育苗日数を見直し、大
 苗や老化苗を回避しながら、中苗

3.1、成苗3.6葉頃から植え始める。極
 端な低温や強風時の移植は回避する。

2 窒素施肥量の適正化

窒素施肥量を決めるに当たっては、
 適正量を見極めることが大切。

土壌診断の結果とこれまでの生
 育、タンパク質含有率、収量の実績
 から、適した施肥を実施する。

3 本田水管理①

活着後は浅水管理を行う。ただし、
 極端な低温や強風予報の場合は、前
 日から深水にする。

ワキや濁りがひどい場合は中干し
 や水の入れ替えを実施する。

4 本田水管理②

冷害危険期終了後は開花直前まで
 中干しする。

登熟初期に高温が続く場合は、か
 んがいの水の掛け流しにより地温と稲
 周辺温度の低下を図る。

登熟中期の落水は、出穂期後25日
 目頃以降に行うのが原則だが、ほ場
 の排水性、穂揃いの状況や登熟状況
 をよく観察し、天気予報も考慮しな
 がら、土壌が湿潤になりすぎないよ
 う落水時期を検討する。

落水後は、入水や排水を容易にし
 るため、早期に溝切りを行う。

収穫の10日前頃までは土壌表面に
 1cm以上の亀裂が入らないように適
 宜入水する。



秋まき小麦 きたほなみ

▼生育経過▲

○令和2年産小麦のは種作業は、は
 種始が9月6日、は種期が9月14日
 と平年より早く行われたが、その後
 は降雨による中断等により、は種終
 は9月27日となり2日遅れて終了し
 た。越冬前の葉数は平年より0.4枚多
 い6.7葉、㎡当たり茎数は平年並の1,
 298本/㎡（平年比100%）とな
 った。

表1 作業・生育期節と生育状況（きたほなみ越冬前）

	令和2年	平 年	遅速(差)
は種始	9月6日	9月9日	+3日
は種期	9月14日	9月19日	+5日
は種終	9月28日	9月27日	-1日
出芽期	9月22日	9月25日	+3日
根雪始	11月27日	11月29日	+2日
越冬前葉数	6.7葉	6.3葉	+0.4葉
越冬前茎数(本/㎡)	1,298本	1,294本	+4本

○根雪始は平年より2日早い11月27
 日、融雪期は平年より17日早い3月
 20日で、積雪期間は114日と、平年
 より14日短くなった。

○雪腐病の発生は少なかったもの
 の、縞萎縮病の発生が散見された。



○融雪期が早かったため、起生期も平年より20日早まった。起生期以降の生育も平年より早く進み、幼穂形成期(平年差+12日)、止葉期(平年差+4日)ともに早くなった。

○出穂期は平年より3日早く、開花も早まった。登熟期間の日照時間は平年より1.0時間/日短かったものの、平均気温は平年より0.9℃/日高く推移し、成熟期は平年より4日早まった。

○越冬茎数は平年より多くなったが、その後、茎数の淘汰が進み、早期に有効茎が確保され、成熟期の穂数は平年よりやや少ない720本/㎡となった。稈長は平年より3.1㎝長い79.6㎝、穂長は平年と同値で9.1㎝だった。

表2 作業・生育期節 (きたほなみ越冬後)

	令和2年	平年	遅速(差)
融雪期	3月20日	4月6日	+17日
起生期	3月23日	4月12日	+20日
幼穂形成期	4月23日	5月5日	+12日
止葉期	5月24日	5月28日	+4日
出穂期	6月2日	6月5日	+3日
成熟期	7月14日	7月18日	+4日
収穫始	7月19日	7月21日	+2日
収穫期	7月21日	7月25日	+4日
収穫終	7月27日	7月29日	+2日

表3 雪腐病の発生状況(空知農業改良普及センター本所) 単位: ha、%

	大粒	褐色小粒	黒色小粒	紅色	褐色	計
発生面積	0	532	69	720	662	1,983
割合	0	26.8	3.5	36.3	33.4	

令和3年度に向けて

○令和3年産小麦のは種作業は、は種始が9月6日、は種期が9月14日と平年より早く行われた。

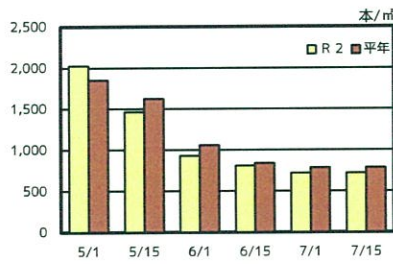


図1 秋まき小麦(種)数の推移(作況調査ほ)

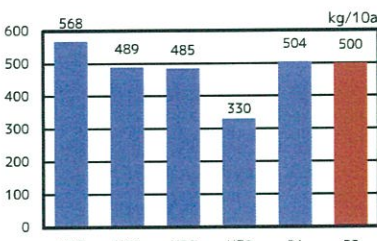


図2 収量の推移(農政事務所) R2はJA暫定値

○登熟状況は平年並だったが、品質は良好となり、収量も多くなった。

○赤さび病の発生は比較的少なかったものの、一部ほ場では成熟期後半にかけて被害が見られた。

その後は降雨による中断等により、は種終は9月28日となり平年並に終了した。

○10月15日現在の生育は概ね平年並に進み、草丈は17.7㎝(平年差+0.2㎝)、葉数は3.8葉(平年差-0.1葉)、㎡当たり茎数は457本(平年差+5本)だった。

○令和3年産については、は種期間が平年より長いことから、終起生期の茎数もほ場毎に異なる。生育に応じた、適切な施肥管理に努める。

○「なまぐさ黒穂病」は、令和2年産においても北海道内各地で発生を確認していることから、引き続き出穂期頃からのほ場観察を徹底し、発生拡大を防ぐ。

○発生を抑えるための対策は次のとおり。

- ①輪作の実施(最重要…連作を避け、4年以上の輪作の実施、緑肥の導入検討)
- ②健全種子の使用(自家採種を使わない)
- ③種子消毒の実施
- ④適期は種(遅まきをしない)
- ⑤適正な種深度(深まきをしない)
- ⑥登録薬剤の散布(ただし耕種防除と組み合わせることが前提)発病リスクが高い場合は、対策を講じたうえで、翌年の見回りを徹底するなど、見逃しのないように心がける。

☆融雪促進に努めるとともに、額縁

明きよや補助暗きよを施工し、透排水性改善に努める。

☆秋まき小麦の減収要因は、連作障害や排水不良だけでなく低pH土壌が考えられる。土壌診断に基づく石灰質資材の投入を検討する。

☆薬剤散布については、可能な限り「無風条件」「適切な散布高さ」に留意し作物にしっかり薬剤が付着するように作業を進める「少し風があるから散布高さを低くする」は厳禁。

春まき小麦 初冬まき栽培

▼生育経過▲

○令和2年産初冬まき小麦のは種作業は、平年並の11月12日に終了した。

○越冬後茎数は平年より15%多く、一部で廃耕となったほ場があったものの、被害は少なく越冬状況は概ね良好だった。

○幼穂形成期は平年より4日早く、止葉期、出穂期は平年並、成熟期は平年より3日早くなった。

○茎数は生育期間全般を通じて平年より多く推移し、成熟期の穂数も平年より10%多い804本/㎡となった。稈長は平年より7.8㎝長い83.8㎝、穂長は平年より0.5㎝長い8.5㎝だった。

○登熟は秋まき小麦と同様に平年並で、品質は良好、多収となった。

○うどんこ病の発生が見えられた



○積雪期間が長いと越冬率が低下するため、融雪材散布による融雪促進

令和3年度に向けて

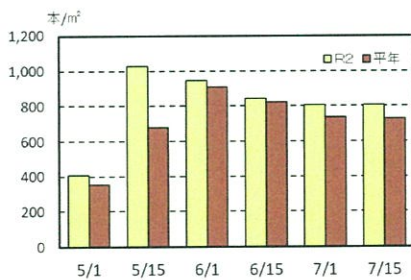


図3 春まき小麦茎(穂)数の推移(作況調査ほ)

表4 生育期節と遅速(初冬まき)

	令和2年	平 年	遅速(差)
は種終(R1)	11月12日	11月13日	-1日
幼穂形成期	5月12日	5月16日	+4日
止葉期	6月1日	6月1日	±0日
出穂期	6月9日	6月9日	±0日
成熟期	7月24日	7月27日	+3日
収穫始	7月31日	8月1日	+1日
収穫期	8月4日	8月4日	±0日
収穫終	8月7日	8月7日	±0日

が、生育・収量に及ぼす影響は大きくなかった。

に努める。

○散布時期 散布適期は最高気温が0℃以上の続く日(3月1日～10日頃)

○散布資材 アッシュ類、融雪炭カル等 40～60kg/10a

○散布後 15cm以上の新雪が積もった場合は再度散布する。

※ばらまき栽培では凍上害を回避するため、極端に早い融雪材散布を避ける。

○融雪後、ほ場に入れるようになったら直ちに窒素肥料を施用する。

排水性の悪いほ場では、額縁明きよの設置を検討する。

☆秋まき小麦と同様に低pHにより生育不良となる事例が見られるので、春まきや令和4年産の予定ほ場では、は種前に土壌診断を実施し、適宜pH矯正を行う。

大豆 ユキホマレ

▼生育経過▲

○ほ場の乾きが早く、準備が進んだほ場からは種作業が行われ、平年より7日早く始まった。その後は、降雨後のほ場の乾きや他作物との作業の影響もあって、は種期は平年並となり、出芽期も平年並となった。

は種が早いほ場では、は種後の少雨の影響により、出芽に時間を要したほ場もあった。

○は種直後に低温となった時期はあ

ったものの、は種後の気温は6月中旬まで平年より高く推移した。その後は平年並やや高く推移し、登熟後半の9月上旬は極端な高温となった。降水量は6月1～5半旬が少雨傾向となり、6月6半旬～7月上旬はまとまった降雨があったものの、その後は再び少雨となった。日照時間は6月は2半旬以降、曇天日が多く平年より短く推移した。7月に入ると一転して、平年より長い時期が多く、5半旬を除き、多照傾向で推移した。

大豆の作業・生育期節と遅速(ユキホマレ)

	令和2年	平 年	遅速(差)
は種始	5月14日	5月21日	+7日
は種期	5月28日	5月29日	+1日
は種終	6月5日	6月5日	±0日
出芽始	6月1日	6月5日	+4日
出芽期	6月9日	6月10日	+1日
開花始	7月13日	7月17日	+4日
開花期	7月15日	7月19日	+4日
成熟期	9月22日	9月23日	+1日
収穫始	10月3日	10月5日	+2日
収穫期	10月12日	10月12日	±0日
収穫終	10月22日	10月22日	±0日

○出芽期以降の生育は総じて順調に推移し、開花始は平年より4日、開花期も同様に4日早くなった。

○8月上旬の強風日の影響で、茎葉に損傷を受けたほ場が見られたものの、登熟初期～中期の生育は順調に推移した。また着莢数は平年よりも多い傾向だった。

○8月6半旬に多雨となったほか、その後の断続的な降雨の影響で、登熟にやや時間を要し、成熟期は平年並となった。

○収穫作業は平年並に行われた。一部ほ場では、葉落ちが極端に悪いなど茎葉の枯れ上がりにより時間を要したほか、降雨等により、作業が一時的に滞ったほ場もあった。

○8月6半旬の多雨、9月上旬の高温により一部ほ場で、かび等の被害粒が発生しており調製歩留が低下が懸念されている。

○マメシクイガは、一時的に発生量が多い地域もあったが、総じて発生量は平年よりもやや少なく、適切な防除により子実への被害が防がれた。

令和3年度に向けて

○多雨や長雨の際にも速やかに停滯水を排除できるように、暗きよの点検と額縁明きよや無材暗きよなどの補助暗きよを整備することが大切。

○毎年、汚粒防止のために収穫前の草抜きが必要なほ場が見られている。は種後の天候と土壌条件を見極め、適切な除草対策を講じる。また、難防除雑草が増加している場合は、適切な輪作を取り組むなど、前後作も含めて必要な対策を講じることを検討する。



玉葱 北もみじ2000

▼令和2年の生育経過と農作業状況▲

(空知農業改良普及センター作況定点)
は種作業は、平年より2日早く始まり、は種終は早9日となった。育苗期間中は平年より高温多照で経過したため、出芽期は7日早まった。

表1 たまねぎのR2年の生育概要(空知農業改良普及センター作況値)

		生育概要							
		5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月1日	8月15日	9月1日
草丈 (cm)	R02	15.4	21.6	54.2	83.2	89.1	73.7		
	平年	13.8	21.5	42.7	73.6	81.5	70.3		
葉数 (枚)	R02	2.3	3.9	6.9	8.7	9.3	8.0		
	平年	2.1	3.8	6.2	8.5	8.9	7.4		
葉鞘茎 (mm)	R02	3.5	6.7	12.3	18.8	20.1	14.7		
	平年	3.5	6.2	10.6	17.6	19.5	16.8		
球径 (cm)	R02					5.5	7.5	7.6	7.6
	平年					4.8	7.0	7.5	7.6
遅速日数		+1	+2	+3	+2	+4	-4	-2	-1



移植作業は、4月の降雨が少なかったため、移植始は平年より5日早、移植期で8日早と、順調に進んだ。
移植後、5月上旬の高温と適時降雨で活着は順調だった。6月中旬から最高気温が低く寡照に推移したが、夜温(最低気温)は高く推移したため、球肥大期は平年より4日早となった。7月に入り気温は平年より高く推移したが、近年のような暑い夏にはならなかったため、倒伏期は平年より4日遅くなり、移植期からの生育期間は平年より長くなった。
枯葉期は平年より1日遅く、根切り1日遅くなった。
たが、8月4、5半旬は晴れが続いたため、収穫始は早3日、収穫期は早8日となった。
作況ほにおける収量は、平年に比べ高く、規格はL大中心となった。

表2 たまねぎのR2年の生育期節(空知農業改良普及センター作況値)

		生育期節					
		出芽期	球肥大始	球肥大期	倒伏始	倒伏期	枯葉期
R02		3/4	7/1	7/5	7/22	7/28	8/19
平年		3/11	7/3	7/9	7/20	7/24	8/18
遅速(日)		+7	+2	+4	-2	-4	-1

表3 たまねぎのR2年の農作業期(空知農業改良普及センター作況値)

		農作業期									
		は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	根切り期	収穫始	収穫期	収穫終
R02		2/15	2/18	2/22	4/15	4/19	5/2	8/21	8/13	8/25	9/9
平年		2/17	2/24	3/2	4/20	4/27	5/5	8/19	8/16	9/2	9/15
遅速(日)		+2	+6	+9	+5	+8	+3	-2	+3	+8	+6

表4 たまねぎのR2年の収量調査(空知農業改良普及センター作況値)

		収量調査								
		2L	L大	L	M	S	規格内計	規格外	規格内率	合計
R02		455	2,806	2,754	404	42	6,461	127	98%	6,588
平年		813	1,718	1,813	672	121	5,138	378	93%	5,515
平年差		-358	1,088	941	-268	-79	1,323	-251	5	1,073

図2 たまねぎほ場におけるアザミウマ類捕殺頭数の推移(JAびばい管内2カ所平均)



月と5月4～6半旬の積算平均気温は過去3カ年平均より低く経過したため、5月の捕殺数は少なく推移した。6月上旬は高温多照で推移したため6月3半旬で平年より多くなったが、6月中旬からの低温と、7月中下旬の積算平均気温も過去3年平均より低かったため、ピーク時の捕殺数も少なく経過した。

令和3年度に向けて

『病害虫』
◎アザミウマ類(図2JAびばい管内2カ所平均)
令和2年のアザミウマ類捕殺数は、5月14日から調査を行った。4

砕土の良否は定植後の活着と初期生育に大きく影響する。春先には、融雪促進を図り、耕起時には適正な土壌水分で砕土する。
生育期間中には、薬剤防除、中耕、

射手座



コミュニケーションを取る機会が増え身辺がにぎやかに。資格や技能を習得するための勉強には幸運が宿っています

蠍座



思うようにならないことが多くイライラしがち。忍耐力を発揮して。下旬には運気が好転。味方が増えて前進へ

根切り、収穫と、機械を使った作業が主となる。農作業安全には十分気を付けて作業をする。

収穫後には、次年度の作付計画を考えます。長期連作をしている場合は、特定の土壌養分の蓄積や病害発生などの問題が発生する可能性が高まる。計画的に輪作を行い、土壌物理性の改善と地力向上に努める。

アスパラ

1. 令和2年の生育経過

①ハウス作型

2月中旬から除雪やハウスビニールの被覆が始まり、作業の遅れはなかった。3月下旬から春芽の収穫が始まった。春芽は、前年秋の株養成が十分であったため、萌芽数、若茎の太さは良好で、前年よりも収量は多かった。

立茎は、目標とする太さの親茎と本数を確保し、5月下旬から6月上旬は気温が高く、日照に恵まれたため、親茎の仕上がりは早く、良好であった。

夏芽は6月下旬から萌芽が始まった。7月中旬から8月中旬までの高温と乾燥により頭部の開きは目立ったが、例年よりも太かった。8月下旬の低温により若茎の曲がりが発生し、緩やかに萌芽が止まり、9月中旬に停止した。収量は前年よりも多かった。

②露地作型

融雪は早かったが、5月は寒暖差が大きかったため、春芽の収穫は平年並みの開始となった。その後も萌芽や伸長は鈍かったが、収穫後半からの天候回復により、順調に萌芽し、収量は前年よりも多かった。

立茎栽培は、立茎開始直後から雨が多く、後半から気温が高かったため、親茎の草丈は高く、擬葉が大きめでポリariumのある草姿であった。8月7日の強風により、全倒伏にはならなかったが親茎のなびきやネット上での折れが発生した。立茎完了直後であったため、折れた茎葉は再立茎に間に合い、被害は少なかった。

夏芽は7月下旬から萌芽が始まったが、8月中旬までの高温と少雨により萌芽数の減少と若茎の開きが多発した。8月下旬の降雨により萌芽は回復し、平年よりも20日程度遅い9月に入ってから収穫のピークを迎えた。夏芽の収量は前年よりも多かった。

慣行栽培は、8月下旬には翌春に必要な生育量は確保し、有効茎数や太さ、草丈は平年並みであった。

③株養成期の生育

生育調査は9月下旬、根中糖度は11月に行った。

9、10月は雨が多く、土壌が湿潤だったため、茎葉の黄化は遅かった。

令和2年 秋季生育調査結果 (JAびばい管内、11ほ場調査)

作 型	草 丈 (cm)	有 効 茎		GI	斑 点 病 発病指数	根中糖度 (%)
		茎数(本/m)	茎径(cm)			
ハ ウ ス	197.7	11	1.30	2,946	1.0	21.4
露 立 茎	179.6	13	1.11	2,580	0.9	21.1
地 慣 行	169.9	24	0.95	3,888	1.1	23.0

草丈：トップピング実施ほ場含む 有効茎：茎径0.5cm以上の健全茎

GI：平均草丈×1m当たり茎数×平均茎径

斑点病発病指数 0：発病なし 2：病斑が認められ、一部落葉、黄化
4：株の1/2以上が黄化、落葉

2. 病害虫の発生状況

斑点病は、全期間を通して発生は少なかった。疫病は、春芽収穫中から立茎直後に見られたが、その後の発生は少なかった。

茎枯病の発生は非常に多く、露地作型でほとんどのほ場で見られた。

アザミウマ類、カメムシ類は7月下旬から発生が多かったが、前年よりも被害は少なかった。

ハダニ類は8月中旬から発生が目立ち始め、ほ場によっては茎葉が黄化した。

令和3年度に向けて

【1】茎枯病の防除を徹底する「露地作型は要注意！」

斑点性病害の中でも感染力が非常に強い。最初は一部の発生でも、あつという間にほ場全体に広がり、遠くから見ても分かるほど、枯れ上がるのが特徴。

感染には雨が必要で、雨が降ると広がり、萌芽直後から感染が始まる。



↑赤褐色紡錘形の病斑



↑病斑上に小さな黒い粒=柄子殻(伝染源)

令和2年は：

- ①春芽収穫打ち切り直後から立茎前半に降雨(6月下旬から7月上旬)
- ②春芽収穫打ち切りから2週間程度萌芽が途切れなかった



③ 8月下旬から9月上旬の降雨と高温に加え、新たに萌芽

これら①③により、感染する機会が長期間あり、被害が拡大した。

本病は、茎葉全体が早期に枯れ上がり、翌年に必要な生育量を確保できないため、欠株の発生や春芽が細い、あるいは萌芽数が減少し、収量が低下する。

令和2年に発生が多かったほ場は、夏芽からの収穫(春は収穫しない)で立茎も想定しながら、春芽の収穫期間を調整し、次の対策を徹底する。

対策の基本は、「若茎への初期感染防止」「罹病茎葉のほ場外搬出による二次感染防止」

① 茎葉残渣物は刈り取り、ほ場外へ搬出する(すき込まない)。搬出後、可能であれば刈り残した残渣をバーナーで焼却する。

② 防除は雨前とし、立茎直後から開始する。特に、立茎開始から30日間は7日ごとに行い、初期感染を防ぐ。

③ 雨の降らない時期に立茎する。

④ 発病が見られたら、罹病茎葉は必ず抜き取り、ほ場外へ搬出する。

【2】かん水、施肥は遅れず、十分与える

ハウス作型の夏芽は、7月下旬から8月上旬に収穫のピークを迎えるが、R2年は高温と干ばつによるほ場の乾燥に加え、かん水不足が目

立った。特に、7月中旬から8月中旬までのかん水量を多くする。

夏季の追肥は、翌春のための株養成にも有効であるため、夏芽の収穫を間わず、8月下旬まで行う。また、樹勢低下が見られる、想定される場合は、葉面散布を行う。

ハスカップ

1. 令和2年の生育経過

4月20日頃から発芽、展葉し、5月3日より開花が始まった。

5月は寒暖差が大きかったため開花のばらつきが見られた。果実の肥大期は少雨であったため、果実は小粒傾向であった。

収穫は6月中旬から始まった。収量は昨年よりも多かったが、果実は小粒であったため、平年並みであった。

病害虫は、灰色かび病が目立たなかったが、アブラムシ類は例年同様に収穫が始まる頃から発生が目立った。

令和3年度に向けて

① 夏秋季の管理を徹底する

8月以降は翌年の花芽が作られ、養分を蓄積する大事な時期となる。

夏季は樹勢の強い株を中心に、日陰をつくる新梢を間引き、樹冠内に日が届くようにする。秋季は、老朽

化した過繁茂な主軸枝や樹高が高く伸びすぎた枝の切り戻し、害虫が寄生した枝の除去などを行い、たくさん取れる、作業性の良い骨格づくりを行う。

② 害虫の防除

アブラムシ類は落花頃から果実の着色期を中心に、防除を行う。

ミズキタカイガラムシの被害が多い園地は、7月下旬から10月(幼虫が葉で吸汁している頃)に防除を行う。

③ 防風網の設置による風対策を行い、着果と収量の安定を図る。

園芸全般

令和3年度に向けて

令和2年は記録的に積雪が少なく、早春の気温も高い年だったが、

本年はどのような春になるかわからない。ほ場の融雪を促進し地温を高めて、定植後の活着促進や、は種後の発芽率向上を図る。またほ場に合

わせて深耕、心土破碎、明きよ、暗きよなどを行い、透水性の改善や有効根域の拡大に努める。

近年、フザリウム菌やバーティシリウム菌、センチュウ類などの土壌病害虫が多発傾向にある。栽培後には、病株をほ場外へ持ち出すとともに、茎葉などの処分を適切に行い、

病原菌密度の低下を図る。輪作や緑肥作物の栽培も土壌病害虫密度低減になる。しかし、ハウス栽培で土壌病害が多発した場合、土壌消毒(薬剤による消毒や土壌還元消毒など)を検討する。

【文責】アスパラ・ハスカップ・農産園芸課
その他：空知農業改良普及センター

各作物の詳しい内容については、左記の担当部署までお尋ねください。

《水稻・小麦》

米 麦 課 TEL 63-0526

《大豆・玉ねぎ・アスパラ・ハスカップ》

農産園芸課 TEL 63-0527



Main events



願いが込められたしめ飾りを笑顔で受け取る岸組会長（右から2番目）と見守る伊藤正人専務（左）



左から板東市長、谷村部長、山口副部長、西田副部長

しめ飾りで 健勝と豊穣を祈願

J A びばい女性部役員は令和2年12月16日、J A の岸定代表理事組合長と美唄市の板東知文市長を訪問。美唄産おぼろぎの稲わらを使って手作りしたしめ飾り「福亀」を贈った。しめ飾りの寄贈は今年で16回目。谷村清美女性部長と西田由美子、山口靖子両副部長の3名が、全長70センチの華やかなしめ飾りを「今年はとても大変な年になり、心身ともに疲弊した1年になった。来年は笑顔で過ごせるよう豊作はもちろん、みなさんの健勝を願っています」と岸組会長と板東美唄市長に手渡した。岸組会長は「毎年手作りのしめ飾りを贈ってもらい感謝している。来年はこのしめ飾りの願い通り笑顔が絶えない1年になることを願う」と笑顔で受け取った。また板東美唄市長も「コロナ禍で多くの産業が打撃を受けている。美唄市の基幹産業である農業を大事にしたい」としめ飾りを受け取った。

贈ったしめ飾りには五穀豊穣とあらゆる災いから逃れるようお願いが込められ、2匹の亀をあしらっている。



しめ飾りを編む福田さん（右）と伊藤さん（左）

女性部やJ A が贈り物に使うしめ飾りは上美唄開拓の福田ひろみさんと好川美智代さん、伊藤文子さんがその年の稲わらを使い、丹精して編み上げている。福田さんたちが作るしめ飾りは長寿を願う大きな亀が特徴的で、豊作の象徴でもある稲穂を下に垂らすのが基本。福田さんが亀の体を編み、亀の体に頭や稲穂をつけるのは伊藤さんが担当する。

稲わらは9月の稲刈り時、青く色がきれいなものを選び自脱式コンバインで長めに刈り取り、乾燥から仕上げまで全て手作業。11月から編み始め1ヶ月かけて30個以上作る。

13年贈り続ける 丹精したしめ飾り

J A は令和2年12月25日、空知総合振興局を訪問し、高野瑞洋局長に組合員手作りのしめ飾りを贈った。しめ飾りの寄贈は今回で13年連続となった。

岸定代表理事組合長が大きなしめ飾りを手渡すと高野局長は「縁起物を頂けてとてもうれしい。めでたい雰囲気です。湿った感じを吹き飛ばして、すばらしい年を迎えたい」と笑顔で受け取った。

J A が贈った5本のしめ飾りは振興局内に飾られた。



左から土屋節子副局長、高野局長、岸組会長、西川賢宮農部長



毎年多くの市民がしめ飾りを購入していく



手作りのマスクケースなど素敵な商品も販売

今年1年の 感謝を込めて

女性部は令和2年12月9日、コアビバイの展示ギャラリーで感謝祭2020を開催し、女性部員の手作り品やしめ飾り、ドライフラワーなどを市民に販売した。

例年開催している収穫祭おぼろづきでは、豊穣の秋を迎えたことに感謝し、市民と喜びを分かち合うため、新米おにぎりや女性部特製の豚汁、漬物などを無料で配布していた。今年は新型コロナウイルス感染対策により開催中止も検討したが、人がより多く集まる試食の無料配布や抽選会、ビンゴゲームを自粛。女性部員による商品の販売をメインとした感謝祭を開催した。

今回は4支部が出店し、手指消毒やフェイスガードなど感染対策を万全にしてそれぞれ個性豊かな手作り品を出品した。会場を訪れた市民からは「今年は試食やってないの?」や「試食を楽しみにきた」など旬の農産物を味わえず惜しむ声も聞こえたが、しめ飾りやドライフラワーなどを毎年購入している市民からは開催への感謝の声も多く聞こえた。



意見を交わし合うJA常勤役員と女性部三役

今後の活動への 協力も要請

女性部三役は1月15日、JA常勤役員との懇談会をJA3階中会議室で開催した。

谷村清美女性部長が「今年度は新型コロナウイルスの影響で一部の行事が中止になった。来年度は対策を講じてできる限り活動したいので協力をお願いしたい」と挨拶。これに応える形で岸定代表理事組合長も「自粛の中活動してくれたことを感謝する。災い転じて福となるを期待し、協力していきたい」と挨拶した。

懇談会では女性部から宮農販売フロアの利便性や新型コロナウイルスの影響による米価の変動などについての質問のほか、令和3年度以降の女性部の機構改革について常勤役員に説明。質問事項には岸組合長、坂内文仁常務が回答し、充実した意見交換の場となった。

例年は女性部の三役と支部長、JAの役員と幹部職員で懇談会を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染対策により、人数を最小限に縮小。さらに互いの距離を取り合って実施した。



女性部三役が美咲市の老人ホーム恵風園を訪問し、部員から寄せられたタオルや大人用紙おむつなどを寄贈した。(02/12/16)



美咲農業情報システム研究会がJA 3階大会議室で農業簿記ソフト《ソリマチ》の講習会を農民協と合同で開催。30名の会員が参加し、次年度更新のやり方などを学んだ。(02/12/21)



5年目を迎えた受験ガンバレグッズの配布。今年は感染予防対策のマスクと体を温めるカイロを入れ、受験生を応援する。グッズを受け取った宮田愛里さんは「しっかり勉強して夢をつかみたい」と話した。(01/06)



岩見沢市の空知総合振興局が食育で地域の魅力を発信する空知食育フォーラムを開催。乾燥野菜を加工販売するつむぎ屋の要覚忍さん（開発）が地産地消に関する取り組みを発表した。(01/15)



あらためて気づいた
食と農、家族のたいせつさ

いそかっ
“家活”
おうち時間を
楽しもう!

“Ienohikari”
家の光

月号	定価(税込)
普通月号	629 円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922 円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027 円

お申込みは「JAびばい営農推進課へ！」
TEL 63-2165

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区渋谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

定例理事会

12月15日

《報告》

- ① 令和2年11月末現在、業務財務報告
- ② 常務委員会報告
- ③ 農家経済改善対策委員会報告
- ④ J A びばい農場活用推進委員会報告
- ⑤ 令和2年度経営監査報告
- ⑥ 小麦調製貯蔵施設進捗状況報告
- ⑦ 令和2年度決算推定報告
- ⑧ その他

《議案》

- ① 令和2年度自己査定に係る不動産評価基準の設定について
- ② 理事に対する資金の貸付について
- ③ 特定組合員に対する資金の貸付について
- ④ 令和元年産主食用米共計追加精算について
- ⑤ 令和元年産水田活用米穀の最終精算について
- ⑥ 令和2年産水田活用米穀の概算精算について
- ⑦ 令和2年産特定米穀の精算について
- ⑧ 「ういす工房」調製米穀の精算について
- ⑨ 令和元年産大豆の最終精算について
- ⑩ 令和2年産なたねの精算について
- ⑪ 令和2年産共計玉葱の概算金支払について

- ⑫ 年末手当の支給について
- ⑬ その他

…全議案承認

《その他報告事項》

- ① 基盤整備事業自己資金準備貯金創設報告
- ② 令和3年度営農計画書審査日程報告
- ③ 令和2年産米・大豆集荷状況報告
- ④ 生産施設操業状況報告
- ⑤ 経済事業業況報告
- ⑥ その他

臨時理事会

12月23日

《報告》

- ① 特定組合員のクミカン収支見込報告
- ② その他

《議案》

- ① 令和2年度第3・四半期末監査意見等に対する回答について
- ② 令和3年度内部監査計画について
- ③ 育児及び介護休業規程の改正について
- ④ 令和2年産主食用米の概算金及び共計内買取品の追加精算について
- ⑤ 令和2年産花き・野菜共計品目の最終精算について

- ⑥ 令和元年産普通小麦の最終精算について
- ⑦ 令和元年産国内麦流通円滑化特別対策事業交付金の支払及び規格外小麦の最終精算について
- ⑧ 令和2年産普通小麦の追加概算金について
- ⑨ 令和2年産くず大豆の最終精算について
- ⑩ その他

…全議案承認

《その他報告事項》

- ① 令和2年度経営所得安定対策交付状況報告
- ② 令和3年度第2回作付意向調査報告
- ③ その他



地域と農業
暮らし支える
新鮮情報
お届けします。



購読のお申し込みはJAへ
購読料 1カ月2,520円(税込)
<http://www.agrnews.co.jp>

協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

JA
北海道
中央会

JAグループ北海道は、来年度以降においても、組合員の皆様が希望を持って営農できるよう、要請運動を展開してまいりました。9月末の概算要求決定前までの運動に加え、10月からはコロナ禍で需要が減少した作物への対策を求める運動を実施し、11月からは令和3年度農業関係予算や補正予算確保に向け、与党農林幹部や道内選出国會議員、農林水産省に対して働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年どおりの要請とはなりませんでしたが、感染防止対策を講じた上での上京運動や議員会館や農林水産省と道内各地区をWEBで繋ぎ要請を実施するなど、コロナ禍ではありましたが最大限の対応を図り、道内生産現場の課題を伝えその解決策について提案をしてまいりました。今後、要請内容や予算概要等の詳細は、JAグループ北海道農政NEWSウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

○JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト
HPアドレス: <https://ja-dosanko.jp/nousei/>
ID: nousei
PASS: hokkaido

○LINEで友達登録していただくと、情勢等の更新情報をご連絡いたしますので、是非、登録願います。



自民党 宮下農林部会長への要請

ホクレン

ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」に込めた想いを伝えるオリジナルアニメーション「from North Field (フロム・ノース・フィールド)」の第2弾を制作、特設サイト (<https://www.from-north-field.jp/>) などで公開を始めました。5歳の少年を主人公に、道内の酪農家から都会の食卓までの「生乳の旅」を分かりやすく紹介しています。



JA北海道信連

還付金詐欺等の特殊詐欺による被害は、依然として減っていない状況にあります。JAバンクでは、窓口・ATMでの声掛けを継続して被害防止に努めるほか、北海道警察と連携した啓発活動にも取り組んでいます。10月～12月の3か月間、STVラジオ番組の中に準レギュラーコーナーを設け、道警の担当者から特殊詐欺の手口や注意するポイント、日頃からの備えについてリスナーにお知らせしました。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。プレゼント付アンケートのコーナーもあり、1月末まで募集しております。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JA共済連北海道

JA共済では、『特定重度疾病共済』資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「特定重度疾病共済」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をもちろんプレゼントしております。キャンペーンは令和3年3月10日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております。JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp/>



こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

- 11日 ○建国記念の日
○自己査定
○第1回監事会
- 12日 ○信用事業リスク管理強化委員会
- 13日 ○企画会議
○常務委員会
- 15日 ○定例理事会
- 16日 ○臨時企画会議
- 18日 ○常務委員会
- 19日 ○女性部通常総会
- 20日 ○臨時理事会
- 22日 ○期末2監査 26日迄
- 23日 ○天皇誕生日

農協職員 資格認定試験合格者

* 上級 *

安村 貴紀 (金融課 融資係)
池田真由美 (金融課 融資係)

* 中級 *

平 直也 (共済推進課)
篠永 一誠 (農産園芸課)
山尾 公一 (農業資材課 給油係)
佐藤 悠子 (農業資材課 給油係)

おめでとう! これからも頑張ってください!



J A の 概 況

< 12月末 >

○皆さんの貯金	25, 334, 146千円
○皆さんへの貸出金	5, 134, 659千円
○皆さんの出資金	709, 790千円
○組合員数	(正) 776人 (准) 3, 644人 (計) 4, 420人

美唄市農協生活改善
運動推進協議会



共練
▼川合 初さん
(九十三歳)
十一月二十九日死去

▼白木 好子さん
(九十五歳)
十二月七日死去

お悔やみ申しあげます

編集後記

とあるきっかけで1月の中頃から
徒歩で通勤しています。

朝はちょうど某高校の生徒とすれ
違ふ形で出勤するんですが、あの子
たち全然道譲ってくれない！笑
別にいいんですけどね。歩道つて
まん中だけ踏み固められていて、両
端はだいたいふわふわ雪が積もって
るんですよ。歩けない程ではないか
ら、前から人が来たら普通よけま
すよね？靴に雪入っちゃうけどよけま
すよ。ぶつかっちゃいますもん。なの
にあの子たち固いところから全然よけ
てくれない！

なんで？！ねえ肩あたってよ？
お互いよけたらあたらないよね？そ
んなぶつかられたら肩はずれちゃう
よ？私おばさんなんだから！なんて
心の声は届かず…。道は譲り合おう
よ！思いやりの気持ちは大切だよ！
ってあの子たちに教えてあげたい
ー！聞いてくれないだろうけど。

【情けは人の為ならず】人に親切に
すれば、その人のためになるだけじ
やなく、いつか自分にもいいことが
やってくるって信じて、私はあの子た
ちに道を譲り続けます…。

よくある質問にお答えします

いつから健康保険証として
使えるようになるの？

健康保険証としての利用は、2021年3月から
順次始まる予定です。
利用するための申込は、マイナポータルででき
ます。

どこの病院や薬局で
使えるの？

2021年3月から、医療機関・薬局などで、マイ
ナンバーカードの健康保険証利用が順次可能
となる予定です。利用できる医療機関・薬局に
ついては、今後、厚生労働省・社会保険診療報酬
支払基金のホームページで公表予定です。

マイナンバーを見られるのが
不安です

医療機関や薬局の窓口職員が、マイナンバーを
取り扱うことはありません。
もし見られたとしても、他人があなたのマイ
ナンバーを使って、手続することはできない
仕組みになっています。

マイナンバーカードを
持ち歩いて大丈夫なの？

健康保険証として使えるようになって、受診歴
や薬剤情報などプライバシー性の高い情報が
カードのICチップに入ることはありません。
落とし、失くしたりした場合は、フリーダイヤルで
24時間365日体制でカードの一時利用停止を
受け付けています。

マイナンバーカードの申請方法

交付申請書をお持ちの方は、以下4つの方法から申請できます！

スマートフォン 半分以上の人がオンライン
からの申請なんだって！

- ① スマホで顔写真を撮影。
- ② スマホで交付申請書のQRコードを読み取る。
- ③ 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録。
- ④ 申請者専用WEBサイトのURLが届けられたら、
顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。 交付申請書

パソコン 交付申請書記載の
申請書IDが必要だよ

- ① カメラで顔写真を撮影。
- ② 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録。
- ③ 申請者専用WEBサイトのURLが届けられたら、
顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。 申請書IDを
入力！

証明用写真機

- ① タッチパネルから「個人番号カード申請」を選択。
- ② 撮影用の料金を投入して、交付申請書のQRコードをバーコード
リーダーにかざす。
- ③ 画面の案内にしたがって、必要事項を入力。
- ④ 画面の案内にしたがって、顔写真を撮影して送信し、申請完了。

郵便 カードの仕上がり
が早いスマホでの
申請がおすすめ！

- ① 交付申請書に必要事項を記入し、6ヶ月以内に
撮影した顔写真を貼り付けて郵送し、申請完了。

交付申請書をお持ちでない方は、**マイナンバーカード 郵便**

- ① 専用サイトから手書き用の交付申請書と封筒をダウンロードすれば、
郵便で申請ができます！プリントアウトしてご利用ください。
※手書き用の交付申請書には、顔写真の貼付とマイナンバーの記入が必要です
- ② 市区町村の窓口でも、交付申請書を再発行しています。
本人確認書類（運転免許証、パスポート等）を持参の上、お住まいの
市区町村へ行きましょう。

マイナンバーについてのお問合せ

マイナンバー総合フリーダイヤル
0120-95-0178

受付時間：年中無休（土日祝日も可）
平日 9:30～20:00
土日祝 9:30～17:30

▼一部のIP電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合
マイナンバーカード等 050-3818-1250
その他のお問合せ 050-3816-9405

▼英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語に対応のフリーダイヤル
マイナンバー制度について 0120-0178-26
マイナンバーカード等 0120-0178-27

2021年3月(予定)から
**マイナンバーカードが
健康保険証として
利用できるようになります！**



公的個人認証サービスPRキャラクター
マイキーくん

内閣府 総務省 厚生労働省